

( 数 学 I ) 学 習 指 導 案					
学 級	1 年 5 組	教 室	3 3 5 教室	指 導 者	(省略)
単 元	第 1 章 方程式と不等式		教科書	改訂版 数学 I (数研出版)	
指 導 目 標	中学校で学んだことを復習し、それを発展させて、数や式の計算の基本法則を理解させ、効率よく計算できるようにさせる。また、不等式の性質を理解させ、1次不等式が解けるようにさせる。さらに2次方程式では、因数分解による解法に加えて、解の公式を利用して解けるようにさせる。		指 導 計 画	1 多項式 …… 1 時間 2 多項式の加法・減法と乗法 …… 3 時間 3 因数分解 …… 4 時間 4 実数 …… 2 時間 5 根号を含む式の計算 …… 2 時間 6 1次不等式 …… 6 時間 7 2次方程式 …… 6 時間 (本時はその6時間目)	
本時の主題	2次方程式の応用				
前時の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題集『クリアーI+A』問題番号89~91の*印のついた問題を解いておく。</li> <li>教科書P.50を予習しておく。</li> </ul>				
目 標	1 条件から2次方程式を立て、問題を解くことができる。 2 日常を題材にした応用問題を通して、2次方程式の有用性を実感させる。				
指 導 程 過 開	指 導 内 容	時間	指 導 上 の 留 意 点	資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 規 準 等	
	導 入	5	・ 2次方程式の解法について確認させる。	・ 課題にしっかり取り組んでいるか。	
	展 開	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦の長さを <math>x</math> cm とするとき、<math>x</math> のとり得る値の範囲に注目させる。</li> <li>厚紙で作った直方体を見せ、視覚的にとらえさせる。</li> <li>2次方程式を解き、その解が条件を満たすかどうかを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立方体の縦、横の長さおよび高さを <math>x</math> で表すことができる。</li> <li>[表現・処理]</li> <li>&lt;機器等&gt; 厚紙</li> </ul>	
	展 開	1 0	・ 机間指導をし、理解度を把握するとともに、早く解答できた生徒に板書させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しく立式ができているか。</li> <li>[知識・理解]</li> </ul>	
	展 開	1 5	・ 道路を端に移動させることにより立式が容易にできることに気づかせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫して立式ができているか。</li> <li>[数学的な見方や考え方]</li> <li>&lt;機器等&gt; 通りのこ用紙 画用紙</li> </ul>	
整 理	本時のまとめと次時の予告をする。	5	・ 本時の内容を理解できたかどうかを確認させる。	・ 日常生活と数学の結びつきを実感できたか。	
次 時 の 課 題	教科書P.50の練習49を解いてくる。				
備 考	普通科 生徒数 40名 (男子18名, 女子22名)				